

日本史 B 休校中課題② (4月17日～23日)

◎文章中の〈 〉に当てはまる語句(①～⑯まで)と☆【Q】の問い(☆【Q1】～【Q3】)に答えなさい。(ルーズリーフなどに記入するかプリントを印刷しても構いません。印刷をする人は今回からはプリントは「A4」というサイズになりました)

<1>幕府と大名と御家人 教科書 p172

江戸幕府で一番えらい人は<① 〉。徳川家康の子孫の男性になる。全部で<② 〉人。(前回の日本史の課題にありましたね。)将軍には多くの家来(けらい)がいた。家来のなかで年収が、米で計算して1万石以上の人を<③ 〉と呼ぶ(1石=1000合。1合は約180cc。ごはんにすると茶碗に大盛り2杯分)。年収が1万石未満で、将軍に直接会える家来が <④ 〉。年収が1万石未満で将軍に直接会えない家来が<⑤ 〉。



- ☆【Q1】大名は何人ぐらい? 資料集で調べよう。
- ☆【Q2】旗本と御家人は何人ぐらい? 調べてみよう。

<2>3種類の大名 教科書 p171

・ <⑥ 〉

徳川家の親戚。家康の子孫が分家した。

初代将軍の家康の子が分家したのが愛知県の<⑦ 〉藩と、和歌山県にある<⑧ 〉藩と、茨城県にある<⑨ 〉藩。

この三藩を「御三家」(ごさんけ)と呼ぶ。八代将軍の吉宗の子が分家したのが一橋家と、田安家。九代将軍の子が分家したのが清水家。この三つの家を「御三卿」(ごさんきょう)と呼ぶ。



□将軍に男の子がない場合は「御三家御三卿」から次の将軍を出した。<⑩ 〉家出身の慶喜(よしのぶ)は徳川幕府の最後の将軍。14代将軍家茂と共に幕末の授業でよく登場する。

・ <⑪ 〉

関ヶ原の戦いより前に徳川氏に従っていた大名。「ふだい」と読む。収入は多くはないが、幕府の要職に就くことができた。

・ <⑫ 〉

関ヶ原の戦いの後に徳川氏に従った大名。「とざま」と読む。江戸から遠いところに領地があることが多い。(参勤交代の時の支出が多い。)

□藩は自分の領地を治めた。(ルールを決め、税を取り、警察権を持った。)

□幕府は藩に対して、参勤交代(1年ごとに江戸と領地を往復させる)、妻子を江戸に住ませる(人質ですな)、藩の負担で土木工事をさせる(手伝普請)、などを強制して反乱を防止した。

<3>幕府の組織のポイント 教科書 p 173 の表を見よう。

・一番えらいのは「将軍」

権力は持つが自分で政治をする場合も、そうでない場合もある。

・次にえらいのは<13>

定員は一名。いない時が多い。重要な政策を決める。江戸時代末の「井伊直弼」（いいなおすけ）が有名である。

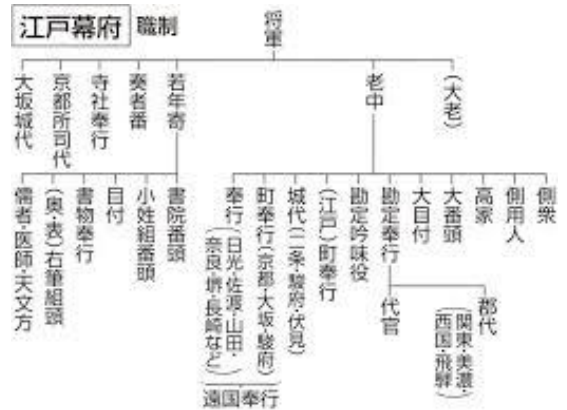
・平常の政治を仕切るのは<14>

2万5千石以上の譜代大名が就任。定員は4~5名。1ヶ月ごとに交代で勤務。大事なことは全員で話し合っている。

・時代劇で出てくる「おぶぎょうさま」とは??



ぶぎょう→奉行、<15>のこと。町奉行とも言う。江戸の行政、司法、警察を支配。現在の東京都知事の仕事に近い。定員2名。「南町奉行」と「北町奉行」が、一カ月交代で奉行所を開く。
(当番でない月は閉門して前月に受け付けた仕事をする。休みではありません)



<4>なぜ江戸幕府は長期間(約二百七十年)続いたのか。(論述)

- 江戸幕府は最大の藩であった。全国の領地を石高(収穫できる米の体積)で表示すると約3000万石。うち幕府領が400万石、旗本の領地が300万石。全国の約<16> (分数で教えてください)が幕府の領地。
- 鉱山からの収入、重要都市(江戸・京・大坂など)を直接治めた収入、貨幣を造ることによる収入があった。貿易の収入をほぼ独占していた。

☆【Q3】この他にも江戸幕府が長く続いた理由がある。教科書を読み、自分で調べてみて考えたことをレポート用紙にまとめよう。

<5>江戸時代豆知識

人口

18世紀はじめの人口調査では2600万人。18世紀はじめの江戸の人口は100万人。世界有数の大都市である。

平均寿命

男女ともに29歳という研究結果がある。(須田敬三氏が江戸後期の100年間、2万人のデータから計算)全死者の70~75%が乳幼児だった。60歳の平均余命は14年。幼い頃を生き延びると長生きが可能。